

家庭でできる

※裏面あり

ゼロカーボン

令和7年度実施中
今がチャンス！

アクション支援制度

ぜひご活用ください！

省エネ家電製品買替補助金

□ 概要

家庭での電力消費量が多い家電製品の省エネ家電への買い替えに対し費用の一部を補助します。

□ 補助対象者

- ・ 市内に住所を有する個人

□ 補助対象製品

- ・ 一定の省エネ性能を有するエアコン、冷蔵庫・冷凍庫、照明器具

□ 補助率等

製品本体の購入金額(税込、3万円以上)の1/4(上限5万円)

□ 条件など

- ・ R4年度以降にこの補助を受けていない世帯であること
- ・ R7年度内に市内事業者から購入したものであること (※購入後に申請) など

詳細はこちら↓



太陽光発電設備等設置費補助金

□ 概要

個人住宅への自家消費型太陽光発電設備及び蓄電池の設置費用の一部を補助します。

□ 補助対象者

- ・ 市内に住所を有する個人

□ 補助対象事業

- ・ 市内の自ら居住する住宅への対象設備の設置

□ 補助率等

- ① 太陽光発電設備 (上限額35万円) ② 蓄電池 (上限額25.8万円)

□ 条件など

- ・ FIT・FIP(固定買取価格制度)による売電及び自己託送を行うものは対象外
- ・ 発電した電力の30%以上を自家消費する計画であること
- ・ 令和8年1月31日までに事業完了 など
- (※購入前に交付申請が必要)

詳細はこちら↓



R7の新たな支援



★NEW★ 自宅への太陽光発電設備の設置が可能であるか等の、初期段階の疑問を抱いている方向けに、専門員による相談を受付けます。(ご相談の際は環境課までご連絡ください)

電気自動車購入助成金

□ 概要

市民及び市内事業者による、電気自動車の新車購入を助成します。

□ 助成対象者

- ・ 市内に住所を有する個人 ・ 市内に事業所を有する事業者

□ 助成対象車種

- ・ 国のクリーンエネルギー自動車導入促進補助金の補助対象となる電気自動車(PHV,FCVは対象外)であること
- ・ 外部給電機能を備えていること
- ・ 車検証の区分が自家用であること など

□ 助成金額

- ・ 電気自動車1台につき 20万円

□ 条件など

- ・ 新車の購入であること (令和7年度中に自動車車検証の交付を受けられること)
- ・ 災害時、避難所等での給電協力に同意できること など
- (※購入前に交付申請が必要)

詳細はこちら→



ゼロカーボンアクション

支援制度をご活用いただいた場合の効果等をご紹介します！

省エネ家電製品買替補助金



冷蔵庫

インターネットに接続可能な新たな機能を持った冷蔵庫なら、AIで**自動で節電**が可能、さらにカメラ付きなら買い物先で在庫確認でき**買いすぎを防止**！

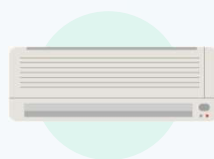


年間CO₂削減量

107.8kg-CO₂/台^{※2}

年間節約額

11,413円^{※2}



エアコン

生活リズムの学習やセンサー感知で**自動で最適化**し、無駄なく運転



年間CO₂削減量

69.8kg-CO₂/台^{※2}

年間節約額

7,388円^{※2}

※1 環境省「省エネ製品買替ナビゲーション「しんきゅうさん」」より、定格内容積451～500Lの10年前冷蔵庫と最新冷蔵庫との比較。※2 内閣府「消費動向調査」による平均買換え年数（冷蔵庫：12.2年／エアコン：13.5年）前の製品から、「しんきゅうさん」における省エネランキング1位の製品に買い替えた想定して試算。
※3 環境省「省エネ製品買替ナビゲーション「しんきゅうさん」」より、冷暖房兼用・壁掛け形・冷房能力2.8kWクラスで10年前のエアコンと最新エアコンとの比較。

太陽光発電設備等設置費補助金



太陽光発電設備の設置

太陽光を活用するため**環境にやさしく**、家庭の**電力消費量が減ってお得**。
災害時にも安心。



年間CO₂削減量

919.8kg-CO₂/世帯^{※5}

年間節約額

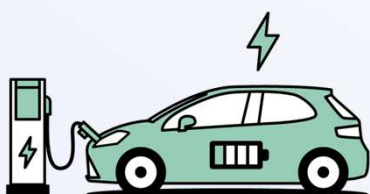
53,179円^{※5}

※4 環境省「令和4年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査結果について」より世帯当たりの年間CO₂排出量（電気、ガス、灯油の合計）2.59トンCO₂からの削減割合。※5 環境省「削減ポテンシャル算定について」等より、3.5kWの太陽光パネルの設置を想定。

電気自動車購入助成金

電気自動車

補助金を活用し、環境にやさしく未来を先取りしたドライブを。
静音・乗り心地の良い快適な移動ができるうえ、自宅で充電ができ便利。
EVならランニングコストは割安。災害時の**電源にも活用可能**な車種も。



年間CO₂削減量

583kg-CO₂/台^{※6}

ランニングコスト

500円/180km^{※7}

※6 ガソリン車からEVへの乗り換えの場合。※7 EVの一例。総電力量20kWh、一充電走行距離180km（WLTCモード）、交流電力量消費率 124Wh。電気代単価を25円/kWhとして算出。飛騨市環境課調べ。